

放射線を 正しく理解して 行動しましょう



平成23年7月
福島県災害対策本部

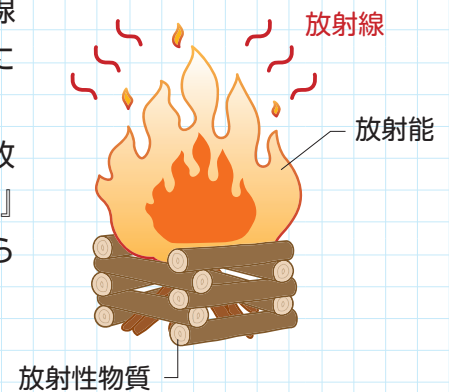
- 放射線を一度にたくさん浴びたり、放射性物質を体の中にたくさんとり込んだりしないよう気をつけよう
- 放射性物質が多くある場所には近づかないようにしよう

放射能、放射線、放射性物質の違いって…?

▼たき火に例えると、火が『放射能』、熱が『放射線』、燃えているものが『放射性物質』です。

病院などで受けるエックス線検査のように、目に見えない放射線発生装置から照射されて人の体などを透視し、特殊フィルムの上に影をつくるのが放射線の力です。

つまり、透視する線のことを『放射線』といい、その発生装置が『放射性物質』、『放射性物質』がもつ『放射線』を出す力を『放射能』と理解してください。ちょうど『火』が『放射能』にあたり、それから放射される『熱』が『放射線』にあたります。

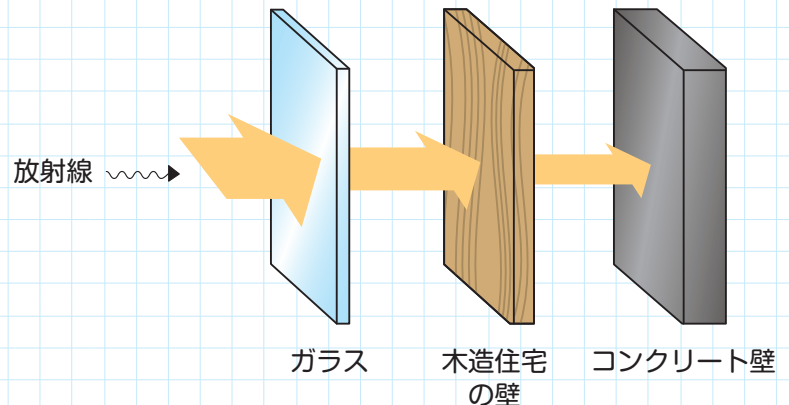


放射線は何でも通り抜けるの?

▼放射線の透過能力

県内に残っている放射性セシウムから出る放射線は、窓ガラスではさえぎられませんが、コンクリート壁ではかなりさえぎることができます。

建物の中は、外よりもかなり放射線量が低くなります。



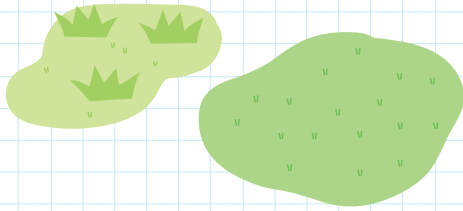
放射性物質の半減期について教えてください

放射性物質は不安定な物質であり、安定化しようとする性質があります。このときに出されるのが放射線であり、完全に安定化すればもう放射線は出しません。

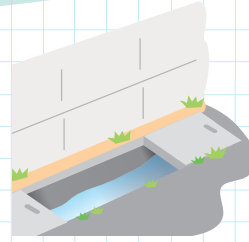
最初にあった放射性物質が放射線を出して、その半分が安定な物質に変わるまでの時間が半減期です。今回の事故で主に放出されていると見られる、ヨウ素131の半減期は8日間、セシウム137の半減期は30年間です。

万が一、食物などを通じて放射性セシウムが身体に入った場合でも、身体の代謝機能により、10～30歳では70日で半減します。

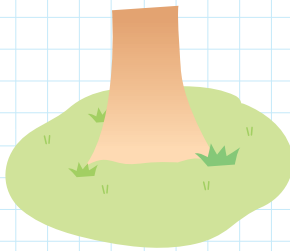
放射性物質があるのは こんなところです



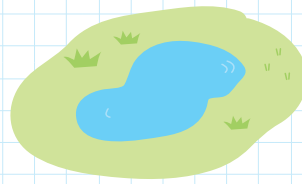
草むら・芝生の上



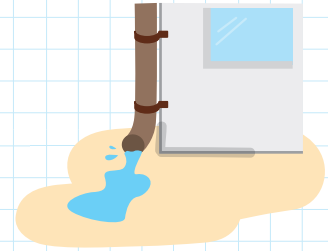
側こう



木の根元



水たまり



雨どい

—— 皆さんが生活しているところには、気をつけなければならない場所があります。 ——



何に気をつければいいの？

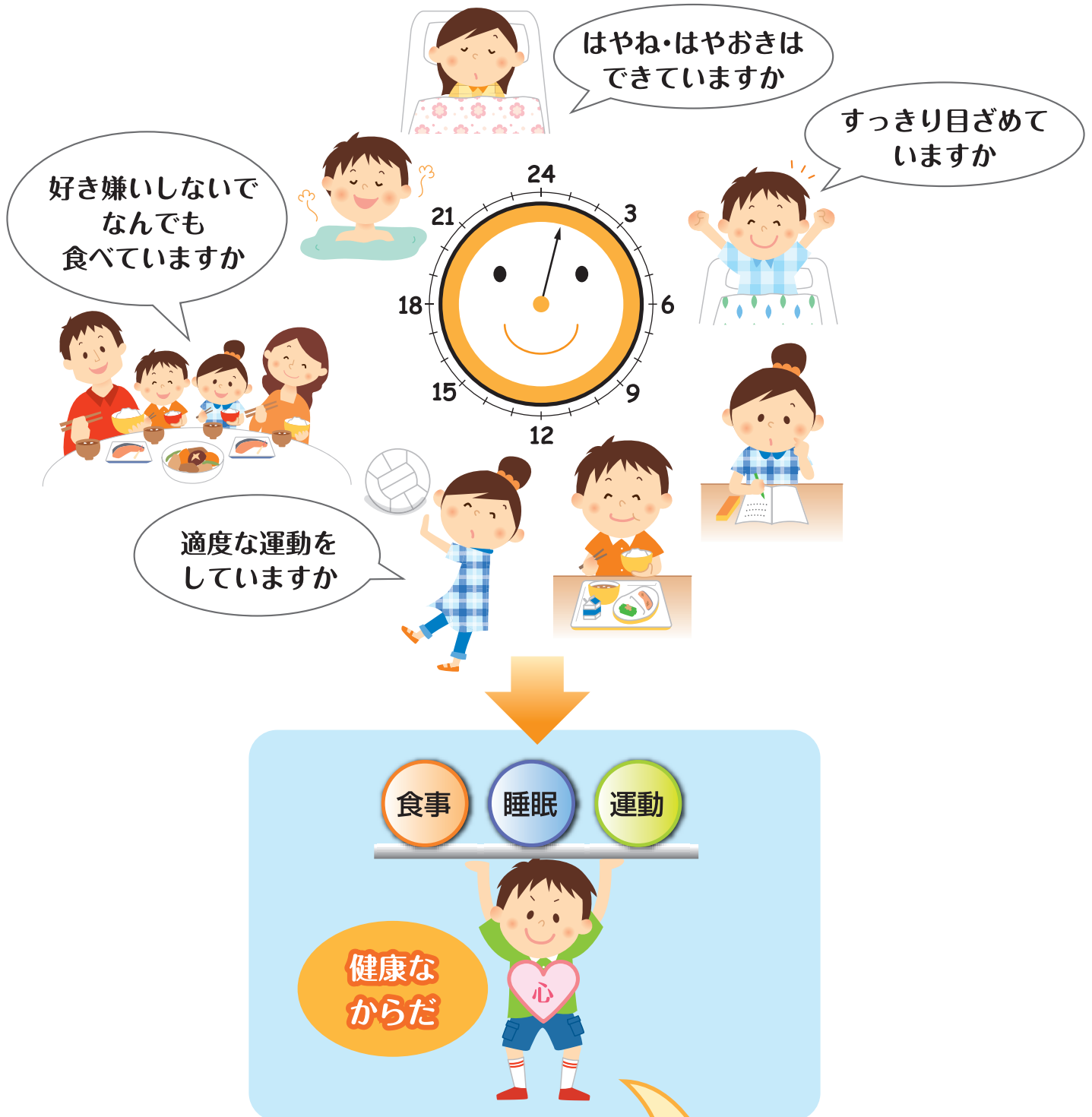
- 屋外活動(部活動等)中に、土や砂が口に入ったら、すぐにうがいをしましょう。
- 服についた埃や、靴についた土などを落としてから教室や家に入りましょう。
- 土ぼこりが舞うような風が強いときは、土や砂が口に入らないようにしましょう。
- お風呂に入ったり、シャワーを浴びるなどして、体の清潔に心掛けましょう。
- 川や水たまりの水・土や砂を口に入れないようにしましょう。
- 屋外活動(部活動等)の後には、手洗い、うがいをし、顔についた土や砂を洗い落としましょう。



規則正しい生活を心がけましょう

～すっきり目ざめて、笑顔でスタート～

自分の生活を見直しましょう



規則正しい生活をして毎日を楽しく過ごすことがあなたのからだを守ります。